

医科学（I）（MSD- I : Medical Science for Dentistry- I）

コーディネーター：口腔医学講座（関連医学分野） 千葉俊美教授
 担当講座（分野）：口腔医学講座（関連医学分野）、医学部各講座

第4学年 前期

講義
 前期 30時間

教育成果（アウトカム）

歯科医師が必要とする医学的知識の習得を目的とし、さらなる専門分野の知識を得ることにより、歯科診療上重要な疾患の病因・病態と診断・治療を考えることが出来る。（ディプロマ・ポリシー：4, 5, 8）

事前学習内容及び事前学習時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月1日（月） 1限	遠藤仁 特命講師 （災害・地域精神 医学講座）	1. 精神・神経疾患総論	以下の項目について説明できる。 1. 主な精神症状 2. 統合失調症 3. 歯科に関連する精神障害 [E-6-②] 事前学習：精神神経医学に関する国家試験 問題，教科書および過去の講義資料を確認 し講義に臨むこと。
7月1日（月） 2限	杉村淳准教授 （泌尿器科学講座）	2. 泌尿器総論	以下の項目について説明できる。 1. 泌尿器の解剖・生理 2. 泌尿器疾患の病態生理・症候 3. 泌尿器疾患での歯科治療の留意点 [E-6-②] 事前学習：泌尿器科学に関する解剖および 機能について確認し講義に臨むこと。
7月1日（月） 3限	阿部貴弥教授 （泌尿器科学講座）	3. 腎不全とその治療	以下の項目について説明できる。 1. 急性、慢性腎不全の原因・病態・治療 2. 人工透析と腎移植 3. 人工透析と腎移植例での歯科治療上の留 意点 [E-6-②] 事前学習：腎臓に関する解剖および機能に ついて確認し講義に臨むこと。
7月1日（月） 4限	加藤陽一郎講師 （泌尿器科学講座）	4. 尿路感染症，尿路結 石症、性行為関連感染 症	以下の項目について説明できる。 1. 尿路感染症、性行為関連感染症の病態と 治療 2. 腎・尿管・膀胱結石の病態と治療 3. 尿路感染症、腎・尿管・膀胱結石例での歯 科治療上の留意点 [E-6-②] 事前学習：尿路に関する解剖および機能に ついて確認し講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月2日(火) 1限	小山理恵准教授 (産婦人科学講座)	5. 婦人科学総論	以下の項目について説明ができる。 1. 女性性器の構造、機能 2. 婦人科良性疾患 3. 婦人科悪性腫瘍の診断と治療 [E-6-③] 事前学習：婦人科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。
7月2日(火) 2限	朝倉賀子助教 (小児科学講座)	6. 小児科学総論 1	以下の項目について説明ができる。 1. 小児の成長と発達 2. 小児期の疾患の特殊性について [E-6-②]
7月2日(火) 3限	朝倉賀子助教 (小児科学講座)	7. 小児科学総論 2	以下の項目について説明ができる。 1. 小児の疾患の概要 2. 小児期の疾患の特殊性について [E-6-②]
7月2日(火) 4限	朝倉賀子助教 (小児科学講座)	8. 成長と発達	以下の項目について説明ができる。 1. 新生児・小児の疾患について [E-6-②]
7月3日(水) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	9. 感染症	以下の項目について説明できる。 1. 感染症の分類、主要な症候、病態 2. インフルエンザ 3. 院内感染経路および院内感染防止対策 [E-6-②]
7月3日(水) 2限	渡部大輔講師 (皮膚科学講座)	10. 皮膚科学総論	以下の項目について説明ができる。 1. 皮膚と粘膜の解剖・生理 2. 皮膚疾患と粘膜病変のかかわり 3. 歯科（口腔疾患）と皮膚粘膜の関連性 [E-6-②] 事前学習：皮膚科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。
7月3日(水) 3限	諏訪部章教授 (臨床検査医学講座)	11. 臨床検査総論	以下の項目について説明ができる。 1. 基準値・基準範囲・カットオフ値 2. 感度・特異度、検査後確率、ROC 曲線 3. 疾病の予後の推定に関する臨床検査の意義 4. 代表的生化学検査の測定法と基準値、臨床的意義 [E-6-②]
7月3日(水) 4限	諏訪部章教授 (臨床検査医学講座)	12. 細菌学的検査	以下の項目について説明できる。 1. グラム染色について 2. 臨床的に問題となる薬剤耐性菌について [E-6-②]
7月4日(木) 1限	西田泰典助教 (眼科学講座)	13. 眼科学総論-視覚器の解剖と機能	以下の項目について説明ができる。 1. 眼球の横断面の構造 2. 眼球と付属器の発生 3. 網膜から視神経、後頭葉に至る視覚伝導路の発生 [E-6-②] 事前学習：眼科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月4日(木) 2限	玉田邦房助教 (眼科学講座)	14. 歯科・口腔外科領域 および全身疾患と眼	以下の項目について説明ができる。 1. 口腔、上顎洞、眼窩の解剖学的関係 2. 歯科・口腔外科疾患による眼合併症 3. 口腔内と眼病変を伴う全身疾患の症状、 病態と治療 [E-6-②] 事前学習：眼科学に関する解剖および機能 を確認し講義に臨むこと。
7月4日(木) 3限	石川陽平助教 (眼科学講座)	15. 角膜移植と角膜屈 折矯正手術、白内障手 術	以下の項目について説明ができる。 1. 角膜移植の適応となる疾患や方法 2. 角膜屈折矯正手術の適応と方法 3. 白内障の種類 4. 白内障手術の適応と方法 [E-6-②] 事前学習：眼科学に関する解剖および機能 を確認し講義に臨むこと。
7月4日(木) 4限	鈴木啓二郎教授 (臨床検査医学 講座)	16. 輸血検査・輸血療 法、GVHD	以下の項目について説明ができる。 1. 輸血検査（血液型検査、不規則抗体スク リーニング検査、交差適合試験、輸血後 感染症に関する検査） 2. 輸血療法（輸血の適応と輸血の副作用） 3. 輸血後 GVHD の病態と予防方法 [E-6-②]
7月5日(金) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	17. 身体所見とリスク 評価と内科救急疾患と 主要徴候	以下の所見と症候の発現機序を説明し、代 表的疾患を列挙できる。 1. バイタルサイン(体温、脈拍、血圧、呼吸) の原理と測定 2. 胸痛、ショック 3. 頭痛、意識障害 4. 呼吸困難、出血 [E-6-②]
7月5日(金) 2限	小山理恵准教授 (産婦人科学講座)	18. 産科学総論	以下の項目について説明ができる。 1. 妊娠経過 2. 分娩経過 [E-6-③]
7月5日(金) 3限	角田加奈子助教 (皮膚科学講座)	19. 皮膚炎・薬疹	以下の項目について説明ができる。 1. 湿疹皮膚炎の機序と治療法 2. 口腔粘膜病変を伴う薬疹の種類と治療 3. ページェット病の臨床所見と発症機序お よび治療 [E-6-②] 事前学習：皮膚科学に関する解剖および機 能を確認し講義に臨むこと。
7月5日(金) 4限	角田加奈子助教 (皮膚科学講座)	20. 感染症	以下の項目について説明ができる。 1. 細菌性、ウイルス性、真菌・抗酸菌、性 行為感染症の種類を列挙する 2. 上記感染症の発症機序、治療法、予防法 [E-6-②] 事前学習：皮膚科学に関する解剖および機 能を確認し講義に臨むこと。

コース最終試験 日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
7月8日(月) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	「医科学Ⅰ」評価試験	「医科学Ⅰ」で修得した知識を確認する。

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
参	☆歯科内科 Little and Falace's Dental Management of the Medically Compromised Patient 9 th ed. 内科学 11版 今日の治療薬:解説と便覧 2019年版	James W. Little et al. 矢崎義雄 総編集 浦部晶夫ほか編	Mosby 朝倉書店 南江堂	2017年刊行 2017年 2019年
参	☆小児科学 標準小児科学 8版	内山聖監修	医学書院	2013年
参	☆皮膚科学 歯科医のための皮膚 科学 2版	山崎雙次ほか編	医歯薬出版	2004年
参	☆精神科学 現代臨床精神医学 改 訂12版 ICD-10 精神および行動 の障 害:DCR 研究用診断 基準 新訂版	大熊輝雄 著 WHO 編	金原出版 医学書院	2013年 2008年
参	☆臨床検査医学 最新臨床検査項目辞典 標準臨床検査医学 4 版	伊藤機一ほか編 高木康、山田俊幸 編	医歯薬出版 医学書院	2008年 2013年
参	☆産婦人科学講座 標準産科婦人科学 4 版	岡井崇、綾部琢哉 編	医学書院	2011年
参	☆眼科学 標準眼科学 13版	木下茂監修	医学書院	2016年
参	☆泌尿器科学 標準泌尿器科学 9版	並木幹夫ほか編、赤座英之監修	医学書院	2014年

成績評価方法

「医科学Ⅰ」評価試験 100% *各科より講義数に応じた問題数による総合試験を実施する。
